

大学生と農山漁村との連携事例



近畿大学

実施主体名:そにのわCSA



担当窓口

近畿大学 農学部 農業生産科学科
農業経営経済学研究室

URL

<https://www.instagram.com/kindai.agri/>
<https://www.facebook.com/kindai.agri>



活動内容

そに

近畿大学農学部と奈良県曽爾村の関係者が連携・協働し、「そにのわCSA」の名称で、CSA（Community Supported Agriculture：地域支援型農業）の活動を実践（農学部の学生・教職員有志による曽爾村産農産物の共同購入、曽爾村での援農活動、曽爾村や農学部でのマルシェの開催等）。関係者間での交流促進や相互理解の醸成、食農教育の進展等につながると共に、大学・地域連携の推進や持続可能な消費の拡大を図るための機会となっている。



きっかけ

近畿大学と曽爾村は2019年に包括連携協定を締結し、共同で地域活性化に向けた取り組みを推進している（規格外品トマトを使用したトマトソースの共同開発や曽爾村での実習等）。これらの取組の一環として、近畿大学農学部と曽爾村、曽爾村農業公社が連携し、「そにのわCSA」の名称で、2023年からCSAの活動を開始した。



展望

農学部ならではの特徴を活かしつつ、調達、生産、加工・流通、消費のチェーン全体を貫き、かつ、都市と農村を結びつける有機的な仕組み作りとその実践を通じた持続可能な消費の拡大を目指して、今後も取組の継続改善・発展を図っていきたい。



（共同購入者への曽爾村産農産物の受け渡し）



（援農活動（ブルーベリー収穫））



（曽爾村関係者との共同でのマルシェの開催）